

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

福祉における課題の多様化(介護保険に関する相談、障害、権利擁護、子育て、及び8050問題に代表される、個別課題の複合化等)が急速に進む中、地域ニーズに即した支援を継続的に行う必要がある。ケアプラザ一体となり、担当エリアの特性(課題だけでなく地域資源も含む)をこれまで蓄積してきたデータから把握し、区役所ほか関係機関と連携をとりながら体制の充実を図っていく。コロナの影響による高齢者の社会参加、活動の機会減少が顕著であることから、新しい生活様式に対応した持続可能な、高齢者への支援策を講じる必要がある。各職種の専門性を活かして高齢者をはじめとする地域住民の活動の場を積極的に創出していくことで、高齢者の孤立化予防、全世代・多世帯のつながりづくりに繋げていく。新たな生活様式に関連した、地域課題の解決に向けて、住民と話し合い交流し取り組む地域を目指していく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	多世代の住民を対象とした担い手育成のための事業を実施する(地域のお助け隊さつき、珈琲ボランティア、介護予防ボランティアなど)。よこはまシニアボランティアポイント登録会のほか、高齢になっても活動が継続できる魅力ある講座や居場所の提案を行う。新しい生活様式に沿ったボランティア活動を創出し、ケアプラザ内だけでなく地域でのボランティア活動をコーディネートしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症キャラバンメイトの新規発掘と育成。メイトとの協働による認知症サポーター養成講座を開催する(認知症の方やその家族と接することが少ない若年層への認知症理解を深めるための小中学生向け講座、また幅広い世代の地域住民に向けた地域向けの講座開催等)。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存のネットワーク、所内外の会議や地域役員、住民などから得た情報や、日報等の蓄積データを活用し、地域課題を捉えるよう努める。把握した課題は、地域ケア会議につながるよう区と包括のカンファなどで共有していく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	包括連続講座(認知症や介護保険関連・権利擁護・人生100年・介護予防など)を本年度も引き続き実施し、認知症やシニアの生活様式についての正しい知識と、様々な対策について、普及啓発していく。関係機関と連携しながら、地域住民とともに認知症についての不安を解決できる機会を増やしていき、さらにいつまでも生き生きと生活できるような地域づくりを支援する。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	障害に関する理解を深める目的で、地域の関係機関の協力を得て自主事業を企画。幅広い世代へ参加を働きかけ、新たな担い手の育成・交流の機会とする。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

さつきが丘ケアプラザのネットワークを活用し地域特性(課題および地域資源)の把握、区社協で取りまとめている地区アセスメントシート作成への情報提供を通じて共有した地域ニーズなどを参考に、ケアプラザ全職種で一丸となり、コロナ禍においても安全に実施できる事業を継続実施した。

福祉課題の多様化に加え、コロナの影響が長期化する中で浮き彫りとなった課題(外出の機会減少による下肢筋力低下、歩行能力低下、交流の機会減少、虐待相談の増加など)に対し、ケアプラザ内で実施可能な連続講座(権利擁護、認知症関連、介護保険関連、介護予防関連、ボランティア育成・支援)だけでなく、アウトリーチとしての出張講座(2小学校と1中学校への認知症サポーター養成講座など学校との連携)、また屋外で実施可能な介護予防事業、ハマトレ講座、青葉台ケアプラザと合同開催のクイズラリー、あおば子育て散歩)など、出来る事を工夫して積極的に実施した。

障害に関する理解を深める目的で行う自主事業「あんしんキーパー養成講座」では、地域の関係機関の協力を得て、大学生、子育て世代、シニア等多世代の方々にご参加いただき、新たな担い手の育成・交流の機会とした。

青葉台地区社協の地域活動参加など地域と協働する必要性、地域の自治会等との繋がりを一層強める為の取組み、ラフル、すてっぷ、ほっぷ、他ケアプラザなど多様な関係機関と連携する事の重要性について深めた1年であった。

次年度も総合相談などで地域のニーズを把握し、多世代に向けた事業を展開、あんしんあれこれガイドや広報誌ひろばを活用し情報発信するなど事業展開を継続していく。

区からのコメント

・コロナ禍の団体支援では、活動の継続のための講座の実施や、体力低下に対する取り組み、新しい形での活動の提案など、様々な工夫をされました。次年度も状況やニーズに合わせて、取り組んでいただければと思います。

・クイズラリー2021では、地域住民の外出のきっかけの創出や、住んでいるまちの発見などにつながったという意見も多かったとのことで、閉じこもりがちなコロナ禍において、特筆的な取組だったかと思えます。次年度もさらに発展させて計画中心ということで、今年度の課題や経験を次にいかして頂ければと思います。

・川柳についても、コロナ禍でいち早く「集まらなくても楽しめる」企画として実施されていましたが、とても良い取組だと思えます。コロナ禍でも引き続き、人のつながりが続けられるよう、取組を進めてください。

・コロナ禍でも、認知症カフェを開催されたり、小学校や中学校で認知症サポーター養成講座を開催され、広報誌で活動報告もされたり、介護者のつどいも定期開催されており、認知症に関する普及啓発活動や当事者や介護者の交流の場提供等工夫されて積極的に取り組まれており、地域住民の方々にとっても心強いことと思えます。次年度はチームオレンジの活動も加わり、認知症に関する取り組みがより増えることと思われませんが、今年度の取組みを活かし、頑張ってください。

・所内広報委員会を設けて、地域住民が知りたい情報は何かということを全職員で検討され、より分かりやすく情報を届けられるよう取り組まれています。今後も住民のニーズに合わせて、情報発信の工夫をしていただければと思います。

令和3年度横浜市さつきが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	相談を受理した場合、相談者のご意向を十分に聞き取り、有効な情報を一覧にして複数提示し、相談者の自己決定を尊重するよう支援する等、情報提供が特定の事業所や種類に偏らないように、利用者及び事業所に対して中立・公平な立場で引き続き対応する。	事故防止に関しては、当法人作成の「事故対応マニュアル」の周知と研修の実施により、事故防止を呼びかけ、また事故発生時には、速やかに対応し、青葉区役所や横浜市への報告も行うように教育を徹底していく。 「個人情報取扱規程」に基づき、漏洩防止・保護に努める。 個人情報保護方針・個人情報問い合わせ担当者などを決めて、玄関に掲示し、ご利用者からの問い合わせ等に真摯に対応していく。
実績	利用者に対して毎年実施している「公正・中立性に関するアンケート結果」に配慮し、公正・中立な立場で、相談者の自己決定を尊重した支援、情報提供を行った。特定の事業所や種類に偏らないよう常に意識し、相談援助・支援を行った。	事故防止について： 法人内で年2回(交通事故および情報漏洩など)研修を実施。専門家から映像を用いたシュミレーション研修を受講し、ドライブレコーダーで運転状況の分析を行った。 個人情報保護について： 職員全員に対し個人情報保護研修を行い「個人情報保護に関する誓約書」に署名、横浜市長に提出。 常に緊張感を持って個人情報を扱うよう最大の注意を払った。 法人内で個人情報保護に関する研修を行いケアプラザのみでなく法人として個人情報保護を心掛けている。 「個人情報取扱規程」に基づき、漏洩防止・保護に努めている。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	日々の相談業務・アセスメント・モニタリング・担当者会議等を丁寧かつ適切に行い、ご本人ご家族の要望をききつつ、自立や強みを生かした支援・計画作成に取り組んだ。 3職種による、対象者へのコンサルテーション、方針の確認を随時行った。 要支援者の自立・介護予防を目指した在宅生活を念頭に、利用者・事業所を問わず公正・中立性の確保を常に意識しながら計画を遂行した。 担当者会議、運営推進会議、地域ケア会議、介護予防従事者研修など様々な機会をとらえ関係者や対象者に、地域情報・課題の周知を行った。 広報誌やチラシにインフォーマル情報わかりやすく掲載し、ケアマネジャーがプラン作成時に生かせるよう心掛けた。	特定事業所加算を算定する事業所を目指して、計画的な研修実施及び職員一人一人の個別研修計画を作成、ケアマネジメント技術を向上することにより質の高い相談支援を行い、利用者様ご家族様にご不安なく自立した在宅生活をお送りすることが出来るよう支援してまいります。また24時間の相談連絡体制を確保し、支援困難なケースや緊急でサービス利用を希望される方のご相談など、地域包括支援センターと連携し、積極的に受け入れてまいります。 (1)利用者様の意志及び人格を尊重し、常に利用者様の立場に立ち、提供されるサービスが特定の種類・事業所に偏らないよう公正中立な立場で支援を行います。 (2)利用者様の能力に応じ、自立した生活を維持するために適切なサービスが受けることが出来るよう心身の状況や環境、必要時応じ介助者等ご家族の希望も考慮し、要介護状態の悪化防止となるようケアプランの作成を行います。 (3)利用者様宅を定期訪問しサービス内容についてモニタリングを行い、サービスの実施状況の把握・サービス調整の必要性について確認を行います。
利用料金・実費負担		
職員体制	管理者 1名(常勤 兼務) 社会福祉士 1名(常勤 専従) 保健師 1名(常勤 専従) 主任ケアマネジャー 1名(常勤 専従) プランナー 2名(非常勤 専従)	管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 4名(常勤専従2名) (非常勤専従2名)
契約者数	介護予防支援 65件 介護予防マネジメント 56件	123.5件

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	ご利用者様のQOL(生活の質)向上を図り、可能な限り在宅生活を送る事ができるように、各職種職員と連携を図り、レクリエーションや地域交流、入浴、食事、機能訓練、生活リハビリ等の、質が高く、信頼されるサービスを提供していく。		

実施体制	【実施日数】 週6日 【提供時間】 9:30～16:30 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	<p>●介護保険自己負担分 :1割負担 : 2割負担 :3割負担 要支援1:1793円/月:3585円/月 :5378円/月(週1回) 要支援2:1793円/月:3585円/月:5378円/月(週1回) 要支援2:3675円/月:7350円/月:11025円/月(週2回)</p> <p>要介護1:703円/回:1,405円/回:2,107円/回 要介護2:829円/回:1,658円/回:2,486円/回 要介護3:961円/回:1,922円/回:2,882円/回 要介護4:1,092円/回:2,183円/回:3,274円/回 要介護5:1,225円/回:2,449円/回:3,673円/回 (別途、要介護者:入浴加算Ⅰ、個別機能訓練加算Ⅰ2、サービス提供体制強化加算Ⅲ、個別機能訓練加算Ⅱ、科学的介護推進体制加算、処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算Ⅱ) (別途要支援者:運動器機能向上加算、サービス提供強化加算Ⅲ、科学的介護推進体制加算、処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算Ⅱ) ●食費負担 750円</p>		
職員体制	管理者 :1名(常勤兼務) 生活相談員:2名(常勤兼務2名) 看護師 :3名(非常勤兼務3名) 機能訓練指導員:4名(常勤兼務1名,非常勤兼務3名) 介護職員 :10名(常勤兼務4名・非常勤6名) 調理員 :5名(委託業者 非常勤5名) 運転手 :5名(非常勤5名)		
契約者数等	【延べ利用者数】 8234 【契約者数】 78	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「さつきが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,631,871		16,631,871	14,320,912	2,310,959	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	15,600	△ 15,600	
雑入	0	0	0	37,320	△ 37,320	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0	21,120	△ 21,120	
その他			0	16,200	△ 16,200	
その他	4,400,169		4,400,169		4,400,169	
収入合計	21,032,040	0	21,032,040	14,373,832	6,658,208	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,313,000	0	11,313,000	8,876,711	2,436,289	
本俸	11,313,000		11,313,000	6,953,480	4,359,520	
社会保険料			0	639,273	△ 639,273	
手当計			0	1,200,161	△ 1,200,161	
健康診断費			0	4,297	△ 4,297	
勤労者福祉共済掛金			0	79,500	△ 79,500	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	1,358,000	0	1,358,000	3,712,948	△ 2,354,948	
旅費			0	31,838	△ 31,838	
消耗品費	1,358,000		1,358,000	132,050	1,225,950	
会議随費			0	3,942	△ 3,942	
印刷製本費			0	207,832	△ 207,832	
通信費			0	333,740	△ 333,740	
使用料及び賃借料	0	0	0	21,120	△ 21,120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	21,120	△ 21,120	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	105,356	△ 105,356	
図書購入費			0	1,980	△ 1,980	
施設賠償責任保険			0	37,440	△ 37,440	
職員等研修費			0	36,642	△ 36,642	
振込手数料			0	24,420	△ 24,420	
リース料			0	1,224,082	△ 1,224,082	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0		0	
その他			0	1,552,506	△ 1,552,506	
事業費	306,000	0	306,000	41,910	264,090	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000	41,910	222,090	
その他			0		0	
管理費	6,676,000	0	6,676,000	5,695,223	980,777	
光熱水費			0		0	
清掃費	6,376,000		6,376,000		6,376,000	
機械警備費			0		0	
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守			0		0	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他	300,000		300,000	5,695,223	△ 5,395,223	
修繕費	474,000		474,000	1,422,030	△ 948,030	予算：指定額
公租公課	905,040	0	905,040	0	905,040	
事業所税			0		0	
消費税	905,040		905,040		905,040	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	21,032,040	0	21,032,040	19,748,822	1,283,218	
差引	0	0	0	△ 5,374,990	5,374,990	

自主事業費 収入	0	0	0	15,600	△ 15,600	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	41,910	222,090	
自主事業 収支	△ 264,000	0	△ 264,000	△ 26,310	△ 237,690	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	21,120	△ 21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

*各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「さつきが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,108,000		29,108,000	24,373,000	4,735,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	151,000		151,000	154,000	△ 3,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,789,000		5,789,000	5,802,000	△ 13,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,035,000		2,035,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	2,035,000		2,035,000		2,035,000	
収入合計	37,083,000	0	37,083,000	30,329,000	6,754,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,689,000	0	32,689,000	24,776,693	7,912,307	
本俸	32,689,000		32,689,000	13,427,700	19,261,300	
社会保険料			0	3,244,550	△ 3,244,550	
手当計			0	7,707,025	△ 7,707,025	
健康診断費			0	20,058	△ 20,058	
勤労者福祉共済掛金			0	377,360	△ 377,360	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
その他			0	0	0	
事務費	1,303,000	0	1,303,000	4,415,738	#####	
旅費			0	44,187	△ 44,187	
消耗品費	1,303,000		1,303,000	62,502	1,240,498	
会議滞在費			0	11,448	△ 11,448	
印刷製本費			0	137,110	△ 137,110	
通信費			0	329,893	△ 329,893	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	7,772	△ 7,772	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	26,428	△ 26,428	
職員等研修費			0	40,400	△ 40,400	
振込手数料			0	11,698	△ 11,698	
リース料			0	739,954	△ 739,954	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	3,004,346	△ 3,004,346	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	700,591	489,409	
協力医	630,000		630,000	483,000	147,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000	40,328	59,672	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000	154,000	△ 3,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000	23,263	285,737	予算：指定額
その他			0	0	0	
管理費	1,775,000	0	1,775,000	1,513,910	261,090	
光熱水費			0	0	0	
清掃費	1,775,000		1,775,000		1,775,000	
機械警備費			0	0	0	
設備保全費	0	0	0	0	0	
空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他			0	1,513,910	△ 1,513,910	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	37,083,000	0	37,083,000	31,532,932	5,550,068	
差引	0	0	0	△ 1,203,932	1,203,932	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	560,000	0	560,000	217,591	342,409	
自主事業 収支	△ 560,000	0	△ 560,000	△ 217,591	△ 342,409	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:さつきが丘地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入					3,097	-3,097		19,298	-19,298		84,135	-84,135			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	0	3,097	-3,097	0	19,298	-19,298	0	84,135	-84,135	0	0	0
支出	人件費			0		1,527	-1,527		14,389	-14,389		40,925	-40,925			0
	事務費			0		37	-37		2,603	-2,603		19,054	-19,054			0
	事業費			0			0		580	-580		12,451	-12,451			0
	管理費			0			0			0			0			0
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	0	0	0	0	1,564	-1,564	0	17,572	-17,572	0	72,430	-72,430	0	0	0
	収支 (A)-(B)	0	0	0	0	1,533	-1,533	0	1,726	-1,726	0	11,705	-11,705	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	いきいききっかけセミナー	H15	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	新しい担い手人材の掘り起こし、各活動への参加のきっかけづくり	5:地域		いきいきセミナー修了生との共催事業。活動の一環として、各期でそれぞれテーマを考案し、地域住民も参加できるセミナーを開催。園芸セミナー(春・秋)健康セミナー(8月)を開催予定。	2	32
2	はなみずき	H23	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	地域の高齢者の安否確認と見守り。栄養バランスの良い昼食の提供	1:高齢者		月1回の配食サービス。ボランティアによりケアプラザで調理された手作り弁当を予約された方に配食。作り手だけでなく、配達もボランティアに参加いただいている。	1	5
3	さつき草むしりデー	R2	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	団体間の交流。ケアプラザの環境保全。ちよこボラさつきの活動の周知。	5:地域		5月実施予定。日頃貸館を利用されている団体からボランティアを募り、「ちよこボラさつき」の指導のもと、ボランティアの皆様と一緒にケアプラザの草むしり、園芸作業を行う。	1	36
4	美ボディ講座	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の方どなたでも参加でき、歩くという基本動作の大切さの理解する。健康促進の意識を高め、介護予防にもつなげていく。	5:地域		社交ダンスの要素を取り入れたリズムカルなエクササイズで、姿勢を意識しながら歩く、楽に身体を動かし、インナーマッスを鍛える呼吸法も学ぶ。	11	118
5	歴史と珈琲交流サロン	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	歴史講話を媒体にして、シニア男性をはじめ地域の方々の外出支援を行う。コーヒーボランティアの活躍の場の提供。	5:地域		ボランティアが入れたコーヒーを楽しみながら、テレビドラマを題材にしたわかりやすい内容の歴史講話を聞き、同じ興味を持つ地域の方々との交流を図る。	6	118
6	四季のコンサート	H28	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子育て世代へのケアプラザの周知とボランティア活動への参加の働きかけ。	5:地域		親子向け七夕コンサート、絵本コンサート、冬のコンサートと、季節、聞き手の年齢に合わせた内容のコンサート。	2	33
7	登録団体連絡会	H28	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	感染症拡大予防を考慮したケアプラザの利用方法や新しいルール、避難経路の周知および団体同士の交流。	1:高齢者		人数を絞って開催するため、同じ内容の連絡会を2回開催。新しい生活様式に沿った貸館利用ルールの説明会とボランティア活動の紹介、ハマトレミニ講座を実施。	2	36
8	手作り楽器製作	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの子供余暇支援事業。青葉区民文化センターと協働し、地域のコミュニティーをひろげる。	4:子ども・青少年		夏休みに「楽器」づくりをケアプラザで行い、8/17のフェアホールでの合同演奏会に参加する。	2	24
9	青葉台地区子育て散歩ツアー	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの周知と青葉台地区に転入してきた親子の地域デビューのきっかけ作り。同年代の仲間作り。	3:養育者及び乳幼児		子ども家庭支援課、青葉台CP、地域の子育て拠点と協働し、子育て散歩ツアー及び子育てマップの作製を行う。	1	11
10	秋まつり	H12	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の方へのケアプラザの周知。活動ボランティアの活躍の場の提供。地域住民の方々の世代間交流。	5:地域		10月末実施予定。	0	0
11	クイズラリー	R3	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	外出の機会の減った地域の方々の外出支援、健康増進、	5:地域		11月実施予定。青葉台CPとの共催事業。ケアプラザで配布されたカードに従って、地域の掲示板を巡り、掲示されたクイズに回答後、参加カードをケアプラザに提出する。	1	120
12	ニコピカ歯磨き	H18	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の親子の口腔衛生の啓蒙活動	3:養育者及び乳幼児		10月開催予定。区役所との共催事業。年齢にあわせたオーラルケアの講話や虫歯のチェックを行う。	1	16
13	よこはまシニアボランティアポイント	H31	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	よこはまシニアボランティアポイントの理解と利用促進。新規シニアボランティアの発掘	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイント事業、ボランティア活動についての理解を深める内容の講座を開催	0	0
14	ケアプラザ広報紙「ひろば」	H12	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ及び福祉保健活に関する情報発信、ボランティアの発掘(募集)等	5:地域		年10回ケアプラザ広報紙「ひろば」を発行し、地域に回覧・掲示等を行う。	10	10
15	書初め練習講座	R2	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	書道を通じて地域の小中学生の交流の場作りと多世代交流の場を提供する	4:子ども・青少年		エリアの小学校の冬休みの課題となる書初め、地域のボランティアを講師とし、指導していただきケアプラザで書き上げる。	1	19
16	SSL(さつき自習室)	H28	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	中学生の学習支援の場の提供 子ども食堂の周知	4:子ども・青少年		エリアの中学校(谷本中)と協議の上、期間を設定し、学習スペースの提供する。	3	3

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	子育てワイワイ広場	H16	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	就学前の親子の居場所づくり ケアプラザの周知	3:養育者及び乳幼児	5	親子が予約なしに自由に集える場所。民生委員や地域のボランティアの見守りの中、子どもを遊ばせ、母親にリラックスした時間を提供する。同時に子育ての悩みや問題を受け付ける窓口があることを周知する。	37	625
18	「あんしんキーパー」養成講座	R3	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	活動の機会が減少しているボランティアグループを対象に障害に関する講座を実施し、新たなボランティア活動の提案をおこなう。	5:地域	7	8月より実施予定。青葉区基幹相談支援センターほつぷ、青葉台地域活動ホームすてっぷとの共催事業。導入講座、施設見学、当事者との交流を含む4回連続講座。	3	20
19	多世代交流ベンチ「憩いのベンチ」	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ボランティア活動の活性化を図る。また近隣のボランティアの方の情報共有や多世帯の交流の場づくりを支援する。	5:地域	7	ケアプラザに関わるボランティア人材育成と交流の場として「憩いのベンチ」を提供し情報交換や多世帯交流を推進する。	32	40
20	スクリーンコンサート(あおばカノ)	R3	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ITC活用事業。	1:高齢者	5	2021年2月に行われたプロの演奏家によるチャリティーコンサート(あおばカノン2021)のDVDを視聴してもらう。交流サロン等での開催時に数回上映予定。	2	28
21	脳トレ・ハマトレ・コグニサイズ講座	H31	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症予防について地域住民が仲間と取り組ながら、認知症についての正しい知識を習得するため。	1:高齢者	7	介護予防・認知症予防・ハマトレ・コグニサイズについて実践していく。毎月第三木曜実施。	9	87
22	つつじカフェ	H29	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザから遠方の方を対象とした認知症カフェの開催	1:高齢者	5	つつじが丘のレンタルスペースを利用した住民が気軽に集える居場所、交流の場の提供認知症等の情報提供と相談受付(年10回)	10	38
23	しらとりカフェ	H28	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	しらとり台地区の住民を対象とした認知症カフェの開催	1:高齢者	5	しらとり台の店舗施設利用した住民が気軽に集える居場所、交流の場の提供認知症等の情報提供と相談受付(年10回)	9	76
24	介護者のつどい	H19	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者の心身の負担軽減 介護に関する地域や技術を学び、介護者同士の情報交換、交流	1:高齢者	5	介護者・介護サービス事業所職員等を招いての茶話会(年10回)	10	56
25	包括連続講座	H30	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	住み慣れた町でいつまでも健康に安心して暮らしていただく為に必要な情報を総合的に提供する	1:高齢者	5	介護予防、権利擁護、認知症や介護保険関連、住まい、つながりづくりなどをテーマに年に5回程度実施。	7	98
26	権利擁護講座	H25	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	主に高齢者を対象とした住民の権利擁護	1:高齢者	5	講師を招き、権利擁護をテーマとした講座を開催する(年2回)	2	30
27	わたしノート書き方講座	H29	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	青葉区版エンディングノート「わたしノート」の普及啓発	1:高齢者	5	地域住民向けに青葉区版エンディングノート「わたしノート」の普及啓発を行う(年1回)	2	25
28	認知症サポーター養成講座	H27	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の正しい理解促進と担い手の発掘	5:地域	4	小中学校、一般向けに認知症サポーター養成講座を開催する(小学校2回、中学校1回、一般1回程度)	3	213
29	スマホ講座	R2	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	高齢者がスマホを便利に利用できるように手助けをする。	1:高齢者	5	ソフトバンクより講師を派遣してもらい、デモ機を使用しながら、実際にスマホを手にとって利用を体験してもらう。	2	18
30	GOGOスマイル健康講座	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が地域で生き生きと暮らすための介護予防普及啓発事業。健康・フレイル予防・口腔・栄養・ハマトレ・元気を維持し日常で実践できる元気高齢者・介護予防ボランティアを育成する。	1:高齢者	7	ハマトレ普及・フレイル予防・歯科口腔講座・栄養講座・元氣足講座などを年8回以上(月1回)実施し介護予防ボランティアの育成をする。	12	143
31	はじめての朗読講座	R3	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の朗読ボランティアの育成と劇団員の発掘の後方支援	5:地域	7	劇団さつきの団員が講師を務め、呼吸法、発声の基礎、活舌の練習を行う	6	93
32	さつき川柳の会	R2	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域のいつでも、どなたでも、場所を選ばずリモートで参加できる活動の周知。	5:地域	7	リモートで繋がれる事業として、毎月題目を決めて川柳を募集し、選考委員会が優秀作品を選考。同時に参加者間の人気投票も行う。	12	150